



第6回仙台国際音楽コンクール

Vol. 6 - 5

ヴァイオリン部門：2016.5.21（土）～6.5（日）

（2016.6.16 発行 第6回コンクール関連 第5号）

ピアノ部門：2016.6.11（土）～6.26（日）

本選インタビュー特集

コンクール出場者に聞いてみました!! ピアノ部門編

- ①このコンクールを受けようと思ったきっかけは何ですか？
- ②音楽以外に興味があることは何ですか？
- ③仙台の印象はいかがですか？

7 クリストファー・グッドパスチャーさん アメリカ 1989年生



- ① コンクールは他の人達と演奏を競い、きちんと結果が出ることに意義があると思います。それは自分にとってチャレンジでもあり、キャリアにもなると思い、受けることにしました。
- ② バasketボールが好きです。そんなに背が高くないから自分ではしません（笑）、観戦するのは大好きで、今もNBAファイナルの結果が気になっています。食べ物や旅行も好きで、初めての日本にわくわくしています。

- ③ ニューヨークに比べて、街も地下鉄もとても清潔に感じます。人々も皆礼儀正しくて、住みたい街というのが私の第一印象です。

29 シン・ツァンヨンさん 韓国 1994年生

- ① 世界でも大きなコンクールのひとつであることは知っていました。挑戦することは大きなチャレンジであり、自分のキャリアになると考えました。
- ② 料理ですね。韓国料理が好きですが、もちろん日本料理も好きですよ。好きなのはちらし寿司と鰻丼です。
- ③ とても清潔なところだと感じました。人も親切で素晴らしいし、フレンドリーです。このコンクールの優れた運営にも驚かされました。



2 アリーナ・ベルクさん ルーマニア 1990年生

- ① 日本に来たかったこと、同じ学校の人も受けるということで決めました。仙台のコンクールは初めてですし、日本は初めての国です。初めての体験ばかりで、私にとってポジティブな挑戦です！



- ② 読書とスポーツです。睡眠や旅行は誰にとっても大切ですが、音楽家にとってスポーツは特に大切だと感じています。長時間の練習の中で、健康とリラックスを保つために、スポーツを続けています。後は料理が好きですね。
- ③ まだホテルとコンクール会場の往復だけなので、仙台の街をよく見ていません。ここはヨーロッパとの時差も7時間位あり、大きく違う場所です。これから仙台をもっと見てまわりたいと思っています。

22 シャオユー・リュウさん カナダ 1997年生

- ① セミファイナルからコンチェルトを演奏するチャンスがあること、予選は選曲の自由度が高く、自分の強みを生かせる曲を選べることです。また、日本に興味があり来てみたかったということもあります。



- ② 普段は水泳を毎日しています。体型維持のためと、ピアノの練習で疲れた時など気分転換するためにも10年くらい続けています。子供の頃からいろいろなスポーツが好きで、水泳はそのうちのひとつです。
- ③ 日本は様々なことがよく整っていると聞いてはいましたが、実際に来てみると思っていた以上でした。どこも清潔ですし、すべてにおいて質が高いため、悪いところが見つかりません。

4 イリーナ・チスティアコヴァさん ロシア 1990年生

- ① 昨年はショパンコンクールを受けましたが、仙台国際音楽コンクールも規模が大きく、受けることに価値があると思いました。このコンクールは一般公開されているので、多くの方に演奏を聴いていただけるのが楽しみです。イタリアやロシアのコンクールではファイナルにしか聴衆がいません。仙台は予選から聴衆の反応を感じられるのが良いですね。
- ② ビリヤードで、自分のキューも持っています。時間があるときはビリヤードクラブに行きます。乗馬も好きなのですが、できる場所が少なく、なかなか機会がありません。
- ③ モスクワとベルリンは雰囲気は似ていますが、日本は全く違います。あまりにも違うので、慣れることに努力しています。食べ物から人まで素晴らしく、全てが新鮮で特別に感じます。



## 24 ニキータ・ムンドヤンツさん ロシア 1989 年生



① このコンクールのことは、出場経験のあるロシアのピアニストから聞いていました。彼らによると世界的に有名な審査委員と優れたオーケストラに恵まれた、注目すべきコンクールとのことでしたので、受けることを決めました。

- ② 世界中を旅行することが好きです。日本も初めてで、この国のことをもっと知りたいですね。読書も好きです。ロシアの作家が好きですが、ヨーロッパやアメリカの作家の作品も好きです。
- ③ まだ着いて2日ですが、大都市と比べて環境的に心地よく、皆さんオープンで、来て良かったと思っています。

## 12 キム・ジヨンさん 韓国 1996 年生



① 近い国で行われる、有名で大きなコンクールだったからです。審査委員も有名な方が来ているし、コンクールの内容もすごく良いです。選択曲も練習していて、学ぶところがすごく大きかったです。

- ② クラシック以外の音楽、映画、旅行です。
- ③ 東京や大阪しか行ったことがなかったけれど、仙台に来てみたら思ったより大きな都市で、自然も豊かで、ホールの前には森林が広がっていて、とてもいい感じでした。来てから何日も経っていないけれど、ラーメンを食べてみました。韓国のもものと全然違いました。牛タンにも挑戦したいです。

## 41 マリア・ユーリンさん イスラエル 1988 年生



① 日本は素晴らしい国だと思っていましたが、来たことはありませんでした。このコンクールの運営の素晴らしさは知人から聞いていましたし、課題曲にも興味がありました。そして、予選を通過すれば3回オーケストラと共演できる！そんな、多くの理由から、受けることを決めました。

- ② 読書とバドミントンが好きです。他のスポーツもやります。
- ③ 日本は初めてですが、思っていた以上に人、文化、見るもの全てが信じられないほど素晴らしい。だから今、とても興奮しています。

## 21 ラファエル・リープシュタインさん ドイツ 1995 年生



① 日本に来たいと思っていたのが第一の理由です。ヨーロッパには日本の友達が沢山いて、日本食も食べていました。コンクールについても準備がしっかりしていて運営も素晴らしいと聞いていました。

- ② 映画を観ること。サッカーをプレイしたり、観戦することも好きです。あと、友人と過ごしたり、ゲームをすることでしょか。
- ③ 素晴らしいところですし、人もとても親切ですね。ピアノ練習の設定も適切で、この国をもっと知りたくなりました。

## 33 ジョンルーク・テリーンさん カナダ 1993 年生



① これまでヨーロッパで幾つかコンクールに出ましたが、アジアのコンクールにも出てみたかったからです。大学にも仙台を受けた学生が何人かいて、彼らに是非受けてみたらとすすめられました。日本にも来てみたかったですよね。

- ② 音楽以外あまり時間はありませんが、クラシック音楽以外の音楽と美術、特に絵画に興味があります。ウィーン的美術館に行くのが好きで、自分でも絵を描きます。音楽と絵画は共通点がありますからね。建築も好きです。大学の時、ピアノと建築のどちらを最終選考にするか迷いました。
- ③ 素晴らしい！コンクールの運営面もベストな環境を用意してくれているし、街も清潔です。まだ来て間もないですが、仙台が大好きになりました。ピアノの練習の設定やその他の運営面にも好印象を感じています。

## 6 伏木 唯さん 日本 1991 年生



① 大学の先輩にあたる津田裕也さんが出場されていたのを見て興味を持ち、コンクールのビデオや配信映像なども見ていました。セミファイナルからオーケストラと共演できることも魅力です。

- ② 大学の友達と喋ったり、カフェに行くことで気分転換をしています。今住んでいるベルリンはカフェがたくさんあるので、友達と一緒に練習の合間にいろんなカフェへ行っています。
- ③ 仙台駅の周りにはたくさんお店があり、どちらに行けばいいのか迷ってしまったくらい、都会だなと思いました。食べ物では牛タンを食べたいと思っているので、これから食べるつもりです。

## 23 ジュリアン・マーさん アメリカ 1989 年生



① 今、一番やってみたいことがオーケストラと共演するということだったので、それを叶えられるチャンスと思って、受けることにしました。日本も好きで、日本語も少しだけ勉強していました。

- ② 大学でも勉強していたので、台本を書くことや映画を演出することに興味があります。ジュリアードのルームメイトがダンサーで、彼女と環境問題について訴えるミュージックビデオを作りました！
- ③ ここに住みたいくらい好きです。フレンドリーで歓迎されている感じがします。日本人は思いやりがあって、皆さん「頑張って」と元気づけてくれます。このコンクールがずっと続いてほしいです。

発行：第6回仙台国際音楽コンクール 広報宣伝サポートボランティア

問合せ： 仙台市市民文化事業団コンクール推進課（仙台国際音楽コンクール事務局）

TEL: 022-727-1872 / e-mail: [info@simc.jp](mailto:info@simc.jp) URL: <http://www.simc.jp/>